

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 1日

事業所名 児童デイサービスまはろ豊見城平良

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8				
	2	職員の配置数は適切である	8				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	2		療育室内はバリアフリー	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1			・業務が優先となっている部分もあり、月2回以上会議の場を設けるように改善していく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8				
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8				・各職種を活かした勉強会を行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1		・役割を分担し、会議を行い作成している	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			・個別支援計画に基づいて、個別の活動を行っている。 ・毎月、プログラムを変更し、家族へのアンケートも行っている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8			・活動を二つにしたり、外出活動をいれ工夫している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8			・終業前に、朝礼を行い、一日の活動内容と役割を確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8			・終業時に、一日の申し送りを行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	1		・日々の記録はその日の担当が行ない、記録内容は月に一度会議を用いて、検証改善を行っている。	
18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8					
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	8					
PR	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			・会議前に、事業所内で話し合いをし、情報共有し、参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7	1			

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8				・保護者に確認し、就学前に事業所間ででの情報共有の場を設けていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	1		・就労施設等見学し、家族様と情報共有を行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	2			・連携を取り、専門的な研修を増やしていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	2		・公園や児童館など公共施設の交流を中心としている。	・高齢者施設や保育園等とも交流していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	2			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			・送迎や申し送りノートを使い、共通理解に努めている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	2			・スタッフに月に一度、会議を行いながらペアレントトレーニングを行っていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			・送迎などに話を聞いたり、個別に時間を取り対応している。	・保護者会など設立し、悩みの共有をしていけるように考えていく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	3	1		・保護者の要望を聞きながら、連携支援を進めていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8			・速やかに対応できるように、マニュアル化しており、また、対応内容や結果は記録に残している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8			・ブログやSNSを使用し、保護者に対し、発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	8			・鍵付きの書庫を使用し、保管している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			・保護には送迎時や申し送りノートを使用し伝え、本人にもカード等を使い視覚支援など特性に合わせた支援を行っている。	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	2	1	・活動の周知を行っている。	・今後イベント等、地域と密接に係れるように考えていく。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	1		・マニュアルを事務所で掲示し、すぐに確認できるようにしている。	・定期的に会議を行い、マニュアルを更新できるようにしていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			・2か月に1回に避難訓練実施している。	・職員向けにも研修を今後行い、特に防犯訓練を強化していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			・委員会を設置し、研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8			・対象児童はいないが、もし対象があるなら、しっかりと記録を残し、保護者への説明や理解ができるように準備はしている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	1		・個人のファイルに記載している。	・おやつの保管場所等常に見える所に掲示しておく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			・書類作成と再発防止の為の話し合いと対応を行っている。	・ヒヤリを多く作成できるように、意識改革の話し合いをしていく。